

「2005年日本国際博覧会に係る環境影響評価追跡調査(モニタリング調査)報告書(平成16年度)」の訂正について

平成17年7月に公表しました「2005年日本国際博覧会に係る環境影響評価追跡調査(モニタリング調査)報告書(平成16年度)」の一部を、以下のとおり訂正します。

頁	訂正前	訂正後																																																																		
17	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">モニタリング調査実施項目</th> <th>H14<sup>*1</sup></th> <th>H15<sup>*1</sup></th> <th>H16</th> <th colspan="2">H17</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">工事中</td> <td></td> <td>供用時</td> <td>工事中</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">評 価 書</td> <td rowspan="2">長久手会場</td> <td rowspan="2">生態系</td> <td>ギフチョウ・モンゴリナラに着目した公園型里地生態系</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハッチョウトンボ等に着目した公園型湿地生態系</td> <td></td> <td>*5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) *1: 「評価書」の平成14年度及び「その2」の平成15年度には、一部工事着工前から調査を開始した項目も含まれる。  *2: 平成14年度においてもモニタリング項目であったが、調査を実施していないため平成15年度に硫化物のみ調査を実施した。  *3: 平成14年度は「ハッチョウトンボ」のみであったが、平成15年度に調査対象地点においてベニイトンボが確認されたことから、ベニイトンボの生息状況も確認することとした。  *4: <u>調査時期が会期終了後のもののみ調査を実施する。</u>  *5: 平成14年度においてもモニタリング項目であったが、調査を実施していないため、平成15年度から調査を実施した。  *6: 供用開始前の位置づけとして、長久手駐車場及び藤岡駐車場のみ今後の供用時の調査結果との比較に活かす目的で調査を実施した。</p>	モニタリング調査実施項目				H14 <sup>*1</sup>	H15 <sup>*1</sup>	H16	H17						工事中			供用時	工事中	評 価 書	長久手会場	生態系	ギフチョウ・モンゴリナラに着目した公園型里地生態系						ハッチョウトンボ等に着目した公園型湿地生態系		*5				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">モニタリング調査実施項目</th> <th>H14<sup>*1</sup></th> <th>H15<sup>*1</sup></th> <th>H16</th> <th colspan="2">H17~18</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">工事中</td> <td></td> <td>供用時</td> <td>工事中</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">評 価 書</td> <td rowspan="2">長久手会場</td> <td rowspan="2">生態系</td> <td>ギフチョウ・モンゴリナラに着目した公園型里地生態系</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ハッチョウトンボ等に着目した公園型湿地生態系</td> <td></td> <td>*5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) *1: 「評価書」の平成14年度及び「その2」の平成15年度には、一部工事着工前から調査を開始した項目も含まれる。  *2: 平成14年度においてもモニタリング項目であったが、調査を実施していないため平成15年度に硫化物のみ調査を実施した。  *3: 平成14年度は「ハッチョウトンボ」のみであったが、平成15年度に調査対象地点においてベニイトンボが確認されたことから、ベニイトンボの生息状況も確認することとした。  *4: <u>工事中であり、調査時期が適期のもののみ調査を実施する。</u>  *5: 平成14年度においてもモニタリング項目であったが、調査を実施していないため、平成15年度から調査を実施した。  *6: 供用開始前の位置づけとして、長久手駐車場及び藤岡駐車場のみ今後の供用時の調査結果との比較に活かす目的で調査を実施した。</p>	モニタリング調査実施項目				H14 <sup>*1</sup>	H15 <sup>*1</sup>	H16	H17~18						工事中			供用時	工事中	評 価 書	長久手会場	生態系	ギフチョウ・モンゴリナラに着目した公園型里地生態系					—	ハッチョウトンボ等に着目した公園型湿地生態系		*5			
モニタリング調査実施項目				H14 <sup>*1</sup>	H15 <sup>*1</sup>	H16	H17																																																													
				工事中			供用時	工事中																																																												
評 価 書	長久手会場	生態系	ギフチョウ・モンゴリナラに着目した公園型里地生態系																																																																	
			ハッチョウトンボ等に着目した公園型湿地生態系		*5																																																															
モニタリング調査実施項目				H14 <sup>*1</sup>	H15 <sup>*1</sup>	H16	H17~18																																																													
				工事中			供用時	工事中																																																												
評 価 書	長久手会場	生態系	ギフチョウ・モンゴリナラに着目した公園型里地生態系					—																																																												
			ハッチョウトンボ等に着目した公園型湿地生態系		*5																																																															
421	<p style="text-align: center;"><b>表9-3-4 栄養塩類等調査結果</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目及び単位</th> <th>アンモニア性窒素</th> <th>亜硝酸性窒素</th> <th>硝酸性窒素</th> <th>オルトリン酸態燐</th> <th>アルカリ度</th> <th>TOC</th> <th>クロロフィルa</th> </tr> <tr> <th>調査地点</th> <th>mg/l</th> <th>mg/l</th> <th>mg/l</th> <th>mg/l</th> <th>mgCaCO<sub>3</sub>/l</th> <th>mg/l</th> <th>μg/l</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西中山川</td> <td>1.83</td> <td>0.17</td> <td>2.1</td> <td>0.216</td> <td>10</td> <td>3.5</td> <td>3.6</td> </tr> </tbody> </table>	項目及び単位	アンモニア性窒素	亜硝酸性窒素	硝酸性窒素	オルトリン酸態燐	アルカリ度	TOC	クロロフィルa	調査地点	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mgCaCO <sub>3</sub> /l	mg/l	μg/l	西中山川	1.83	0.17	2.1	0.216	10	3.5	3.6	<p style="text-align: center;"><b>表9-3-4 栄養塩類等調査結果</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目及び単位</th> <th>アンモニア性窒素</th> <th>亜硝酸性窒素</th> <th>硝酸性窒素</th> <th>オルトリン酸態燐</th> <th>アルカリ度</th> <th>TOC</th> <th>クロロフィルa</th> </tr> <tr> <th>調査地点</th> <th>mg/l</th> <th>mg/l</th> <th>mg/l</th> <th>mg/l</th> <th>mgCaCO<sub>3</sub>/l</th> <th>mg/l</th> <th>μg/l</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西中山川</td> <td>0.36</td> <td>0.07</td> <td>2.7</td> <td>0.113</td> <td>8.0</td> <td>2.1</td> <td>5.5</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(平成18年1月16日誤植のため訂正しました。)</p>	項目及び単位	アンモニア性窒素	亜硝酸性窒素	硝酸性窒素	オルトリン酸態燐	アルカリ度	TOC	クロロフィルa	調査地点	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mgCaCO <sub>3</sub> /l	mg/l	μg/l	西中山川	0.36	0.07	2.7	0.113	8.0	2.1	5.5																		
項目及び単位	アンモニア性窒素	亜硝酸性窒素	硝酸性窒素	オルトリン酸態燐	アルカリ度	TOC	クロロフィルa																																																													
調査地点	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mgCaCO <sub>3</sub> /l	mg/l	μg/l																																																													
西中山川	1.83	0.17	2.1	0.216	10	3.5	3.6																																																													
項目及び単位	アンモニア性窒素	亜硝酸性窒素	硝酸性窒素	オルトリン酸態燐	アルカリ度	TOC	クロロフィルa																																																													
調査地点	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mgCaCO <sub>3</sub> /l	mg/l	μg/l																																																													
西中山川	0.36	0.07	2.7	0.113	8.0	2.1	5.5																																																													
425	<p>イ 比較  (ア) 存在影響  工事前の平成・・・駐車場整備を行った。  工事着工後及び存在影響改定直前の平成16年度調査においては、平成14年度調査で確認された湿地及びその周辺域において、<u>より多数の個体</u>が確認された。</p>	<p>イ 比較  (ア) 存在影響  工事前の平成・・・駐車場整備を行った。  工事着工後及び存在影響改定直前の平成16年度調査においては、平成14年度調査で確認された湿地及びその周辺域において、<u>多数の個体</u>が確認された。</p>																																																																		

426	<p>ウ 評価</p> <p>(ア) 存在影響</p> <p>「追跡調査(その3)報告書」において・・・追跡調査を行っている。</p> <p>工事着工後及び存在影響の確定直前の平成16年度の調査結果は、<u>平成14年度調査結果と比較して、ハッチョウトンボの確認個体数が増加し、湿地の湿地的環境に大きな変化は見られなかったことが確認された。</u></p>	<p>ウ 評価</p> <p>(ア) 存在影響</p> <p>「追跡調査(その3)報告書」において・・・追跡調査を行っている。</p> <p>工事着工後及び存在影響の確定直前の平成16年度の調査結果は、<u>平成14年度調査結果を参考として比較しているが、ハッチョウトンボは多く確認されており、湿地の湿地的環境に大きな変化は見られなかったことが確認された。</u></p>
428	<p>・ 長久手駐車場の沿道環境大気質では、<u>二酸化硫黄及び二酸化窒素</u>が予測結果を上回る傾向にあったが、調査地点沿道(力石名古屋線)における大気質の濃度は経年的にみると概ね調査結果と同程度であり、本事業工事着手による著しい濃度増加の傾向は認められないことから本事業による影響は小さいと考えられる。</p>	<p>・ 長久手駐車場の沿道環境大気質では、<u>二酸化窒素</u>が予測結果を上回る傾向にあったが、調査地点沿道(力石名古屋線)における大気質の濃度は経年的にみると概ね調査結果と同程度であり、本事業工事着手による著しい濃度増加の傾向は認められないことから本事業による影響は小さいと考えられる。</p>